バラエティ豊かなラインナップ
チョコエッグ
本物のおいしさ
セコイヤチョコレート
フルタ製菓株式会社
〒544-0023　大阪市生野区林寺6-7-22

菓子・食品・パン関連資材専門紙　流通記者会加盟紙
菓業食品新聞
The Journal of confectionery
URL：http://okashi.info　e-mail：ks-news@okashi.info

令和5年　2月12日（日曜日）
（毎月12、22日発行）第2290号
昭和41年7月2日第3種郵便物認可

発行所　〒564-0053 大阪府吹田市江の木町11-38-618
TEL 06(6385)1717 FAX06(6385)0150
株式会社 菓業食品新聞社
支社・京都
発行人　狩野　智子　　一ヵ年　8,800円

第28回全国菓子大博覧会・北海道

令和7年5月30日から17日間
旭川大雪アリーナで開催決定

旭川地場産業振興センター

第28回全国菓子大博覧会・北海道（北の都　旭川菓子博2025＝仮愛称）が、令和7年5月30日（金）～6月15日（日）（午前10時から午後6時まで）の17日間、旭川大雪アリーナ　地場産業振興センターで開催する。主催は第28回全国菓子大博覧会・北海道実行委員会。来場者目標は15万人（平日平均約5818人、土日祝平均約1万4333人）。

【開催概要】Smile Sweets Hokkaido をテーマに実施。開催方針に①継続可能な菓子博実現に向けて事業規模のコンパクト化を図る。②北海道はお菓子の国産原料トップシェアであることを広く全国へアピールする③北海道開拓の歴史と共に育まれたお菓子を伝える④地域活性化に寄与する「地産地消」や「地域の食」を念頭に入れた博覧会とする⑤次代を担う若者にお菓子の魅力を感じられる博覧会とする⑥ウィズコロナを経てデジタル技術を取り入れた博覧会とする。総事業費は3・95億円、経済効果は約23・7億円。

【販売計画】デジタルチケットの導入を計画。旅行会社を選定し、北海道内はもとより北海道外からの誘客を図る。団体ツアー、学生プログラム、JR特別企画乗車券などの企画のほか、菓子工業組合と連携を図り、相互割引制度を利用した相乗効果策を構築する。

第1期前売販売期間は令和6年4月27日（土）～令和7年5月29日（木）。前売券は大人1200円、中高生1000円、小学生600円。当日券は大人1500円、中高生1200円、小学生800円。

【収支計画】収入において、負担金収入は北海道菓子工業組合1000万円、旭川市3000万円、全菓連5550万円、補助金収入は北海道（要望）3000万円で合計1億2550万円。入場料収入は、博覧会入場料1億3500万円、全菓連、工組購入分など2510万円で合計1億6010万円。出展料収入は農業団体、乳業メーカーなどから2000万円、協賛金等収入は菓子関連企業、旭川市関連企業など7000万円、営業参加費収入は会場内営業出展料、全国スイーツマーケット販売手数料など1940万円などで全て合計し、3・95億円。

【役員（案）】〔博覧会役員〕名誉総裁＝彬子女王殿下、大会長＝全菓連理事長、全菓博協議会会長、副大会長＝北海道知事、旭川市長、北海道議会議長、旭川市議会議長、旭川商工会議所会頭、会長＝北海道菓子工業組合理事長

〔協賛会役員〕特別顧問＝全日本菓子協会会長、会長＝（一社）北海道洋菓子協会会長

【会場計画】旭川大雪アリーナ（JR旭川駅から徒歩13分）を中心に一部大型テントを使用した施設設計を行う。

全体構成
シンボル展示
～北の大地～（仮）

第28回全国菓子大博覧会・北海道（北の都　旭川菓子博2025）

会場施設（仮称）	概要
シンボル展示	旭岳を中心とし、360度型の展示とする。菓子原材料の宝庫である北海道を表現。その中でも小豆や生乳、もち米など菓子原材料の地域をピックアップした空間を作り上げる。旭川大雪アリーナ全体を展示スペースと捉える。
工芸菓子展示	全国の菓子職人による工芸菓子を一堂に集めて展示。出展品は褒賞審査の対象となる。和・洋工芸菓子合わせて100点ほどを想定。
褒章菓子展示	全国から応募された菓子の中から褒章を受けた菓子400点を展示。
原材料の宝庫 北海道	北海道を代表する菓子原材料の企業によるオリジナルブース。各企業の特徴を打ち出し、参加体験を主体とした、見て知って学べ、多くの集客が図れる展開とする。 基本的に展示を中心とし、大雪アリーナ内での飲食等は行わない。
お菓子の家フォトブース	実物大のお菓子の家やお菓子のトリックアートをフォトスポットとして展開し、SNSでの拡散を狙う。
全国スイーツマーケット	大型テントを設置し、北海道のお菓子に加え、全国の各都道府県自慢のお菓子を各ブロックで陳列し、購入できる展示・販売エリア。全国その地域でしか買えないお菓子の販売を行う。
スイーツキッズランド北海道	大手菓子メーカー出展ブースとしてお菓子の魅力や商品をPRするブースを設置（出展は2社を想定／各企業の単独出展館）。ここでは、菓子大博覧会・北海道オリジナル菓子の販売など、集客促進となる内容を盛り込んで計画する。
北の大地グルメコーナー	北海道の食材を使用したグルメ屋台など飲食を気軽に楽しめる出店営業エリア『北の大地グルメコーナー』を設置。テイクアウト形式で、北海道グルメを堪能。
旭川もぐもぐストリート	北海道グルメ、おみやげ物が楽しめる飲食・テイクアウトゾーンを展開。キッチンカーやワゴン等も活用し、賑わいのある通りとして構成。ストリートイメージは、素朴で温かみのある北の大地をイメージした装飾で展開する。
お菓子の学校	大雪アリーナ多目的ルームを利用し、有名パティシエを講師に迎え、お菓子づくり体験ができる。親子による参加形式とし、菓子業界の担い手づくりにつなげる。 道内の製菓コースを持つ高校や製菓学校などによる作品の発表、体験教室などPRの場としても活用。
大雪茶屋（お茶席）	お抹茶と和菓子が楽しめるお茶席。和の雰囲気の空間とする。 『大雪茶屋』は、実行委員会直営店舗とする（有料）。提供する和菓子は、北海道の和菓子組合の協力を得て、各和菓子店のおすすめ和菓子を提供。運営は、北海道茶道協会の協力を得て、推進する。旭川大雪アリーナ2階スペースで実施。

北海道まるごと大発見！（北海道企業、菓子関連企業、菓子関連サポート企業による物販エリア）	菓子博を盛り上げるための出展・営業エリアとし、企業PRまたは営業販売エリアとして展開する。本会場は旭川道の駅と隣接しているため入場無料。菓子博会場へ誘因できる要素を盛り込んで展開（入場割引券プレゼントなど）〔会場〕旭川地場産業振興センター

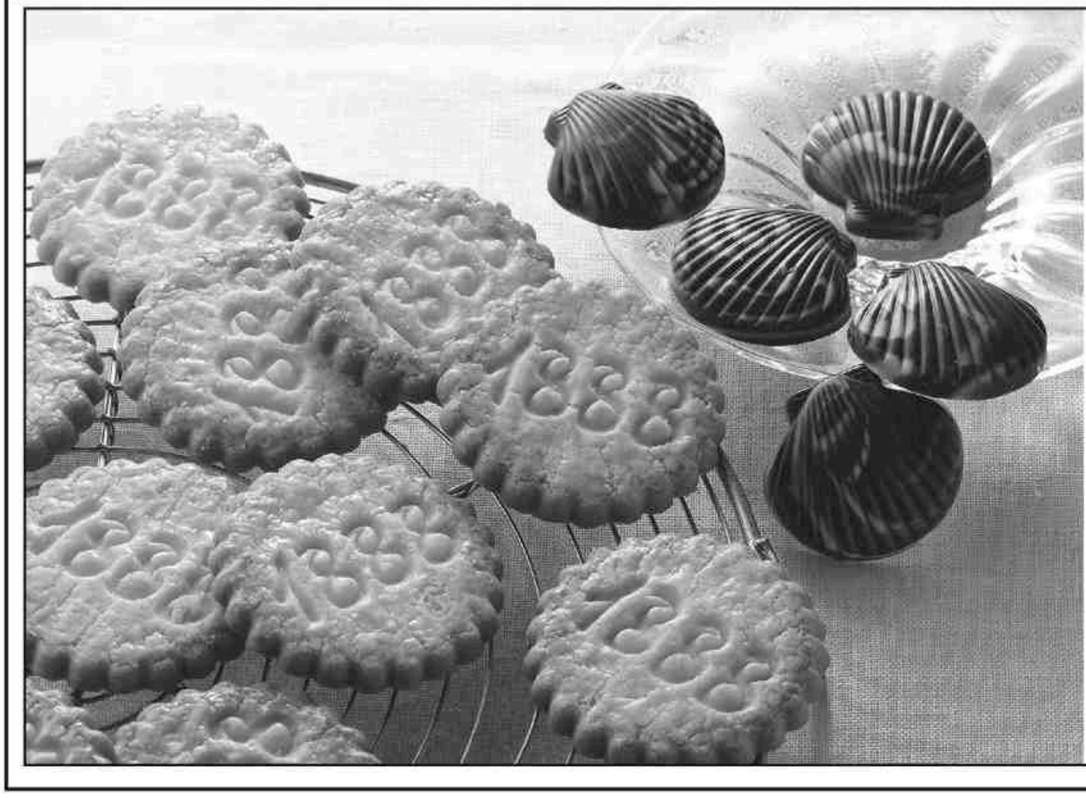
■褒章の種類

工芸菓子部門	機関賞	名誉総裁賞、農林水産大臣賞、文部科学大臣表彰
	大会賞	優秀工芸賞、工芸賞
一般菓子部門	機関賞	名誉総裁賞、内閣総理大臣表彰、農林水産大臣賞、外務大臣表彰、厚生労働大臣賞、中小企業庁長官賞、観光庁長官賞、食料産業局長賞
	大会賞	優秀金菓賞、金菓賞、功労賞

■特別賞の種類

感動大賞	「工芸菓子」に出品された工芸菓子を対象に来場者での投票にて優秀作品を決定。総得点数の上位3点。

2面　VDチョコレート特集
3面　大菓工　新年互例会
7面　京菓工組　新年会



Akutagawa
心華やぐ
ホワイトデーギフト
芥川製菓では、専門メーカーならではの味へのこだわりと、ホワイトデーを華やかにするパッケージを兼ね備えた様々なホワイトデーギフトを毎年ご提案しています。芥川製菓の老舗の味を、是非ご賞味ください。
芥川製菓株式会社　〒170-0003 東京都豊島区駒込1-44-2【TEL】03-3942-2021
http://www.akutagawaseika.co.jp/【FAX】03-3942-2006